



温故知新



2014年度「全国労働衛生週間」の実施にあたり

全国労働衛生週間は、働く人の健康の確保・増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間です。

昭和25年に第1回が実施されて以来、本年で第65回を迎えます。

この機会に自主的な労働衛生管理活動の大切さを見直し、積極的に健康づくりに取り組んでみましょう。

今年も全国労働衛生週間が、

9月1日から9月30日までを準備期間

10月1日から7日までを本週間として

「みんなで進める職場の改善 心とからだの健康管理」のスローガンとして全国労働衛生週間を展開し、事業場における労働衛生意識の高場を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図ることとする。

我が国における業務上疾病の被災者は長期的には減少してきたものの近年は横ばいとなっており、昨年は7,310人と前年から約6%減少した。一方、一般定期健康診断の結果何らかの所見を有する労働者の割合が平成25年は53.0%と職場での健康リスクは依然として存在していることから、労働者の健康確保の観点から、健康診断の実施を徹底し、健診結果に基づく保健指導や事後措置を適切に実施していくことが重要となっている。

我が国の自殺者は平成25年は前年から減少して引き続き3万人を下回ったが、約2,300人が勤務問題を原因・動機の一つとしていること、メンタルヘルス上の理由により休業又は退職する労働者がいること、精神障害等による労災認定件数が平成25年も前年に引き続き400人を超えていること等から、職場におけるメンタルヘルス対策の取組みは依然として重要な課題となっている。

【今号の主な内容】

- P① 全国労働衛生週間
- P② 設備工事関連災害
- P③ 通勤車両について
- P④ ことわざ・
職長会のお知らせ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
花菱ビル5F
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

〈大成建設様からの注意喚起〉

設備工事関連災害の多発とその撲滅に向けて

8月22日、地組中の鉄筋が破壊して2の方が亡くなる重大災害が起きました。当支部でも、仮設足場に起因した墜落による重篤な災害が7月29日、8月6日と連続して発生しています。これで東京支店管内の休業4日以上災害22件の内7件が設備関連になり、例年の2倍の発生になります。また、全国の設備工事による休業災害のほとんどが東京支店管内で起きています。起きた災害を分析しますと、二重、三重に設定されている【やらなければならない】安全対策を飛ばし、【やってはならない】行動を取っている事が、総てに共通しています。したがってやらなければならない事どれか1つをやっていれば防げたものばかりです。もう一度災害防止活動の原点に立ち返り『明日は我が身』と危機感を持つての強い指導をお願いします。

類似災害を防ぐため、取り組む重点項目と今年の災害事例を付けておきます。

●重点項目●

- 1.天台、枠組足場、伸び馬等の使用前点検の実施。
(安全帯の使用及び不備な物は使用しない)
- 2.作業変更に伴う現地の確認とKY後の作業開始を徹底する。
(立ち入り禁止区画に入らない)
(作業変更のルールが全支店で変わっています。2014年8月20日付)
- 3.100kg以上の機器、材料、盤類、配管、煙道等の搬出入据付けは、ワンシートを作成し設備長、所長の確認を取る。;
- 4.重機や高所作業車を使用する時は、作業区域の設定と移動時の安全確認をする。
- 5.開口養生を徹底する。
- 6.無謀な送電を禁止する。
- 7.指差し呼称を一人でも実施し定着させる。

●今年度の休業災害●

- | | | |
|------|-----------|-------------------------------|
| 1/14 | コストコひたちなか | *分電盤(235kg)据え付け時、盤が倒壊し足を挟まれ骨折 |
| 5/3 | 広尾3丁目 | *ケーブル皮むき時、ナイフで左目を刺し眼球破壊 |
| 6/5 | 淡路町2丁目 | *脚立のステップに立って作業中、滑って墜落して骨折 |
| 6/5 | 品川LT計画 | *ドリルを持って伸び馬に昇ろうとした際墜落して骨折 |
| 7/4 | 八王子市体育館 | *BPS内横引き配管150mmに乗って作業中墜落して骨折 |
| 7/29 | 羽田ホテル工区 | *手摺の外された天台で墨出し中に転落して頭骨骨折 |
| 8/5 | 品川LT計画 | *作業変更時、不備な足場より3.2m転落して腰椎多発骨折 |

通勤車両について（再周知）

安全衛生環境協力会員の皆様方には、日頃より災害防止活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、7月29日夕方、通勤途上の車両事故により、乗車していた6名の内、5名が被災する事故が発生しました。被災した5名は休業4日以上で、内1名が入院しました。

事故の発生時には運転者以外はシートベルトを着用していませんでした。1月22日朝にも、通勤途上の車両事故により、4人が死傷し1名が死亡するという大変痛ましい事故が発生し、再発防止のお願いをしましたが、再び同様なお願いをすることになりました。誠に遺憾であります。

つきましては、二度と同じ悲劇を繰り返さぬように、専門工事業者、一次業者はもとより、二次以下にも下記の事項を周知し、徹底願います。

記

1.通勤車両の運転車及び搭乗者について

- ①安全運転の指導・徹底を行うこと。
- ②前夜の睡眠不足・過度の飲酒等のないよう指導すること。
- ③搭乗者全員がシートベルトを着用すること。
- ④運転免許証を確認し、携帯させること。
- ⑤事業主が、道路状況を把握し通勤経路を指示すること。

2.通勤車両について

- ①車両の定期点検を確実に実施すること。
- ②降雪・凍結等が予想される地域への通勤時は、スタッドレスタイヤに交換する等の必要な対策を講じること。
- ③万一の場合に備え、必ず適正額の自動車保険（任意損害賠償保険、人身傷害保険）に加入すること。
- ④事業主が、車検証にて、車両の所有者を確認すること。

ことわざ・格言にならう 安全衛生訓

●安に居て危を思う●



無事故・無災害のときこそ注意

「安に居ても危を思う」とは、平安無事な時でも、危険を予知・予測することが大切だという意味です。「治に居ても乱を忘れず」も同じ意味です。

職場の事故や災害が少なくなってくると、どうしても安全に対する関心が薄れがちになり、日頃の安全活動などにも身が入らなくなります。

もともと安全であるのが当たり前のことですから、とり立てて安全安全と騒がなくてもよいではないかと思いがちです。

しかし、このようなムードが広まり定着してくると、「ヒヤリ・ハット」や潜在危険に無関心となり、その結果として、“思わぬ災害”を引き起こすことになりかねません。

したがって、平穩無事なときでも、常に安全点検や改善、教育や訓練を積み重ねておくことが大切です。無事故・無災害が続いているときほど、「安に居て危を思う」、「治に居て乱を忘れず」の意味をかみしめる必要があります。



職長会のお知らせ

★日時 平成26年10月20日(月)

★時間 18時00分～
(30分前から会場に入れますので早めにお越し下さい。)

★会場 ニュー新橋ビル 地下2階 ニュー新橋ホール